

苫小牧市長
岩倉博文様

要保護女性支援複合住宅・施設設置の要請

社会が目まぐるしく変化する状況下の中で、私たち一人ひとりが社会の動行を意識して生活することの大切さを実感しながら活動を進めております。

私たちは苫小牧市民としての立場から「男女平等参画宣言」都市に参画し、宣言を生きる私たちの歩みの中にそれを実感できたのが「日本女性会議2017とまこまい」大会の実現でした。大会の内容も地域・社会の課題を共有し、そして、全国からの参加者に苫小牧の力強さを発信することができました。【オール苫小牧】の成果でした。

毎年要請しております（住宅施設）の設置は今こそ可能ではないでしょうか。DV問題一つを取り上げても今年も増加の数値となっております。年齢も若い方から高齢者(85才)まで何と悲しい事でしょう。被害に遭われた方々が本当に安心して暮らすためにも、生きるための指導・支援等、本格的な場所が必要不可欠な苫小牧市です、岩倉市長さんは、もう決断されているような思いで私たちは受けとめております。どうぞ一日も早い設置を要請いたします。

平成29年12月26日

苫小牧男女平等参画推進協議会

会長 高橋雅子